

一般告知用

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、今季も Zoom 開催となってしまいましたが、  
関西支部構成員のみならず、ロシア研究を愛する多くの皆様からの深いご理解とご協力を賜り、  
充実したプログラムでの開催の運びとなりました。心よりお礼を申し上げます。

## 日本ロシア文学会 関西支部 2021 年春季総会・研究発表会

2021年6月19日 (Zoom 開催)

進行役：事務局

◎14時00分：開会：支部長挨拶

◇ 研究発表1：14時05分～14時40分 (35分=発表25分+質疑10分)

発表者：中野悠希氏

題目：「ロシア語の斜格主体と状況語“при виде+生格”の意味上の主語との同一指示について」

司会者：岡本崇男氏 (神戸市外国語大学名誉教授)

◇ 研究発表2：14時40分～15時15分

発表者：青山忠申氏

題目：「『プストゼルスク文集』ニジェゴロド写本について」

司会者：中澤敦夫氏 (富山大学名誉教授)

◎15時15分～15時20分：休憩 (5分)

◇ 研究発表3：15時20分～15時55分

発表者：杉野ゆり氏

題目：「プーシキン『青銅の騎士』における間テキスト性について：デルジャーヴィンとラジーシチ  
ェフの作品の想起を中心に」

司会者：望月哲男氏（北海道大学名誉教授）

◇ 研究発表4：15時55分～16時30分

発表者：深瀧雄太氏

題目：「レスコフ『不死身のゴロヴァン』における「贈与」の問題」

司会者：齋藤陽一氏（新潟大学教授）

◎16時30分～16時40分：休憩（10分）

◇◇◇ 総会：16時40分～17時30分（50分） ◇◇◇

◎17時30分：閉会（事務局）

\* 質疑の際の発言は、会員・会友のみに限ります。

（ただし、時間に余裕があれば、司会者の判断で認める場合もあります。）

\*\* 総会への出席は、会員・会友のみに限ります。

◎ 事前に（6月17日（木）締め切り）お申し込みが必要です。 [robunkansai@gmail.com](mailto:robunkansai@gmail.com)